

3歳児クラス 5月 第1回 「ガンピーさんのふなあそび」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	講：絵本を持って登場。「皆は船に乗ったことあるかな」と問い掛け『ふなあそび』に興味を持たせ、表紙のゆったり温かみのある絵の様にリラックスした雰囲気の中でシアターをスタートさせる。	教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット)	 
	読み方 ①「〇〇しなけりやね」「〇〇するんじゃないよ」のところをゆっくり、強調して読む。 ②動物がどんどん増える話の展開に「どうなるのかな?」といった期待と、ドキドキ感が持てるように読み進める。 ③『約束』の大切さを感じさせる様に読む。	保育士の役割 ・子ども達と一緒に お話を楽しむ	

がくしゅうタイム

活動①	ことば	思ったことをことばにして話そうとする	
設問	舟がひっくりかえった場面を見て、どうしてひっくり返ってしまったのか、その時どんな気持ちがあったかをみんなでお話ししましょう		なし
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「ガンピーさんの舟、ひっくり返っちゃったね。どうしてひっくり返っちゃったの?」と問い掛けてみる。 		教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 子：お話を思い出して「子ども達が喧嘩した」「ヤギが蹴っ飛ばした」「子牛がどしんどしん歩いた」など自分の思うことをことばで表現しようとする。 講：発言に合わせシアター（又は絵本）で動物の映像を映したり「ニワトリさんは何をした?」「舟に乗っているみんなはどんな気持ちかな?」などと問い掛けながら、子ども達からたくさんのことばや考えを引き出していく。 保：ことばが出ない子には、ヒントを与えたり、一緒に考え発言を促す。 ※みんなの前で話せなくても、保育士との会話の中で表現出来ていれば良い。その時は「〇〇ちゃんが〇〇って言ってます」と代弁してもよい。 		保育士の役割 ・子どもと一緒に考えることを楽しむ ・ことばの出ない子のフォロー ・称賛
活動②	位置(前後)	位置のことばを理解して正しい場所にカードを置くことができる	
設問	カードをはさみで切り離し、位置のことばを理解して舟の正しい場所に乘せてあげましょう		 教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「あれ? 誰か来たみたい」 保：「キーコ、キーコこんにちはー」と提示用プリント提示。 		P1(ふね付) P1用動物カード3種 (ウサギ・ネコ・イヌ) 提示用プリント 提示用動物カード3種 ★はさみ
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：プリント受け取り「ガンピーさん、こんにちはー。今日は舟に乗ってどちらへ?」と会話。 保：「ガンピーさん、ほくたちも乗せて」と提示用動物カード提示。 講：「ガンピーさんが『仲良く順番に乗れるんだったらいいですよ!』だって。でもくっついたままだと順番に乗れないね。どうしようか?」と問い掛ける。 講：子どもの意見を聞いてカードをはさみで切る見本行動。 はさみの使い方確認 ①はさみの穴に正しく指を入れ、脇をしめ、刃先をまっすぐ前に向け、グーパー繰り返し「ちよっきん、ちよっきん」をキーワードに線の上を切る。 ②反対の紙を持つ手は常にはさみに近い位置に添える。1枚切ったら「(添える手を)持ち替えて」をキーワードに次のカード横へと移動させて切り進める。 ③使い終わったはさみは危なくないように速やかに片付ける ※子どものはさみは保育士が速やかに回収する。 保：「まだこんなにたくさん…」と配布カードを提示。 講：「こんなに乗ったらまたひっくり返っちゃうね。なににな? まだ舟はあるからみんなも乗せてあげてくださいだって。乗せてあげられる人! はーい!」と 		保育士の役割 ・プリント提示 ・動物カード提示 ・はさみ提示 ・カード、はさみ配布 ・はさみ回収、プリント配布 ・はさみの個別指導 ・指示を理解できない子のフォロー ・エレビ演奏

<p>子ども達の意欲を引き出していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保：動物カードとはさみを配布（配布後のはさみの安全に留意する） 子：講師同様はさみを使ってカードを切り離していく。 保：切れた子から速やかにはさみを回収しながら、プリント配布。 子：カードが切れた子は、自由に舟への出し入れを楽しみながら待つ。 講：全員が切れたところで、はさみで切れたことを称賛。一旦カードを舟から出して机に並べさせる。「喧嘩しないように先生が言った順番で乗せてあげてね。良く聞いてね…まずは〇〇さんどうぞ」続いて「〇〇さんは〇〇の前（後ろ）」と位置の指示を出していく。 子：指示を聞いてカードを選び、プリントの舟のポケットに差し込んでいく。 講：子ども達の状態を見ながら「舟が進みます。お気をつけください」「どこまでいこうか？」などリズムに合わせて舟を動かし、何度か乗り降りを繰り返しながら、ごっこ遊びを楽しむ。 <p>最後にカードを全部乗せ「そろそろ舟は帰ります」とカードを入れたままプリントを回収。「仲良く乗れて良かったね！楽しかったね！」と称賛して活動を終了する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・称賛
--	---

数子ヤレ	比較	5対4のお皿を見比べて、多い方を指さす	教材
設問		くらべっこ！どちらが多い？（5対4）	おはじき 皿
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> ・講：「〇〇先生、良く見てね」「♪くらべっこ♪くらべっこ。どっちが多い？」リズムに乗せ楽しくクイズ形式で出題。 ※数えて比較するのではなく、二つの皿をパッと見て瞬時に判断させていく。（慣れない子には左右の皿を指さしながら見比べて判断させていく） ・保：お皿をパッと見比べて、多い方を「こっち！」と指さす。 	保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> ・答える見本行動。2つの皿を比べて「こっち」と指さす。 ・皿を持って比較させていく。

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	約束を守ることの大切さを意識して読むことが出来たか
活動①ことば	全員が発言しやすい環境を作ることが出来たか
活動②位置(前後)	はさみの正しい使い方を指導出来たか
	位置の言葉を理解しやすいように指示出来たか
数子ヤレ(5:4)	瞬時に比較出来るように工夫したか

楽習タイム♪

今月のえかきリズム

*** テーマ・位置(前後) ***

並びっこ遊び

「〇〇の前（後ろ）にいるのは誰？」と問い掛けたり、一緒に遊びながら「順番にお乗りください。〇〇さんは〇〇の前（後ろ）にどうぞ」と位置のことばを意識して声を掛けていく。

※1～2歳の遊びの行動として積木やミニカーなど、黙々と集中して並べる行動がよく見られます。その遊びも3歳位になると単純に並べることから、意味を持った遊びへと変化していきます。そんな子どもたちに遊びの中でちょっと位置のことばを意識していくだけで、楽しく位置のことばを理解していくと共に遊びの幅も広がっていくことでしょう。

♪順番♪順番♪ウサギさんはパンダさんの後ろに並んでください



「順番に並ぶ」「並んで待つ」という行動は、集団生活を送る中でもとても大切なこと。こんな遊びを通して楽しく学んでいけると良いですね

*** おともだち***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

